一般国道 113 号　新潟山形南部連絡道路

鷹ノ巣道路

●整備によって期待される３つの効果

災害に強い幹線道路ネットワークの形成

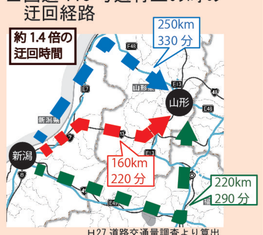
災害に負けない「地域をつなげる道路」に！

◆国道 113 号は新潟～山形・仙台間の県境部を結ぶ唯一の幹線道路ですが、沿道には災害発生の危険が高い箇所（防災点検箇所）が多く、過去に何度も通行止めを経験しており、通行止め時は大幅な迂回を強いられます。
○鷹ノ巣道路が整備されることで、災害による寸断の恐れがない道路ネットワークの形成が期待されます。

冠水による通行止め（H23.6）

地すべりによる通行止め（S59.4）

■国道 113 号通行止め時の迂回経路



H27 道路交通量調査より算出

急カーブ・急勾配区間及び冬期交通障害の回避

快適な走行空間確保でドライバーの負担軽減！

◆国道 113 号の県境付近の山間地域は急カーブ・急勾配が多いため急ブレーキが多発しており、さらに冬期間は積雪の影響により、立ち往生の危険性がある等、ドライバーへの負担が大きい区間です。
○鷹ノ巣道路の整備により、走行しにくい環境が改善されることで、安全で安心して走行できる環境の確保が期待されます。
○鷹ノ巣道路が整備されることで、災害による寸断の恐れがない道路ネットワークの形成が期待されます。

■現在の国道 113 号の課題

急カーブ区間（H29.7）

冬期の立ち往生車両（H29.1）

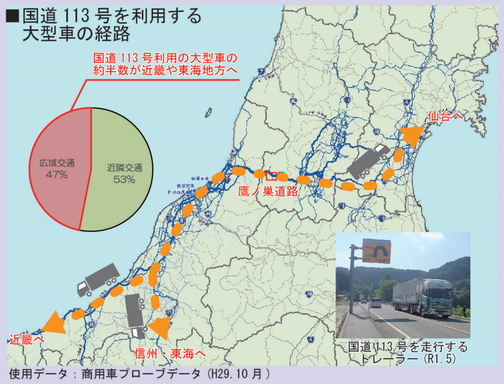
物流・地域経済活動の活性化

スマートな物流を実現！

◆国道 113 号は大型車誘導区間に指定されるなど、物流の基幹軸となる重要な道路です。
◆道路を利用する車両の約 4 割は大型車であり、新潟県・山形県の近隣地域だけでなく、近畿・東海・仙台等の広域の物流を支える役割を担っています。
○鷹ノ巣道路が整備されることで、走行性の改善や所要時間の短縮など、物流の効率化が促されるとともに、通行止めなどによる物資輸送の遅延などが起きない、安定した物流経路の確保が期待されます。

※大型車誘導区間：大型車の通行を望ましい経路に誘導するために指定された区間

■国道 113 号を利用する大型車の経路



使用データ：商用車プローブデータ（H29.10 月）

国土交通省 北陸地方整備局
羽越河川国道事務所
http://www.hrr.mlit.go.jp/uetsu/
〒959-3196
新潟県村上市藤沢 27-1
TEL 0254-62-3211（代表）
FAX 0254-62-1106

最新の工事情報はＨＰへ
鷹ノ巣道路
たかのす便り

作成年度：令和２年３月

地域高規格道路　新潟山形南部連絡道路

国道 113 ROUTE

鷹ノ巣道路

新潟側上空から山形方向を望む

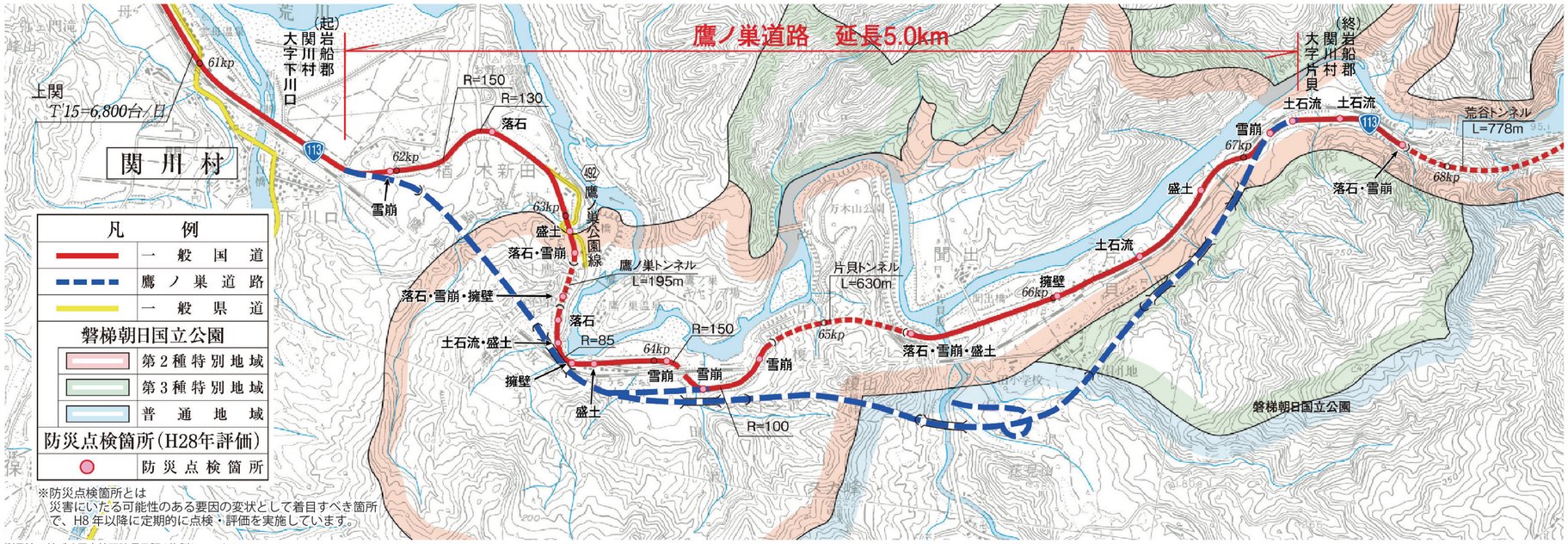
国土交通省 北陸地方整備局
羽越河川国道事務所

新潟山形南部連絡道路

一般国道 113 号　鷹ノ巣道路

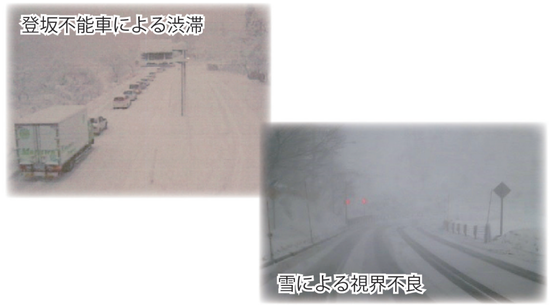
●事 業 概 要

鷹ノ巣道路は、関川村下川口～片貝を結ぶ新潟山形南部連絡道路の一部を構成する延長約 5.0km の道路です。並行する国道 113 号は落石や雪崩発生、交通事故の危険性があり、整備によって災害に強く安全で安心な道路ネットワークの確保等が期待されます。



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R1JHf1043
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない

写真．多発する交通事故（片貝トンネル）



写真．冬期走行の課題

●計 画 諸 元

計 画 諸 元	
起点・終点	関川村大字下川口～関川村大字片貝
延　　長	5.0km
幅　　員	1.75-3.5-0.5-3.5-1.75(11.0m)
構 造 規 格	第1種第3級、設計速度80km/h

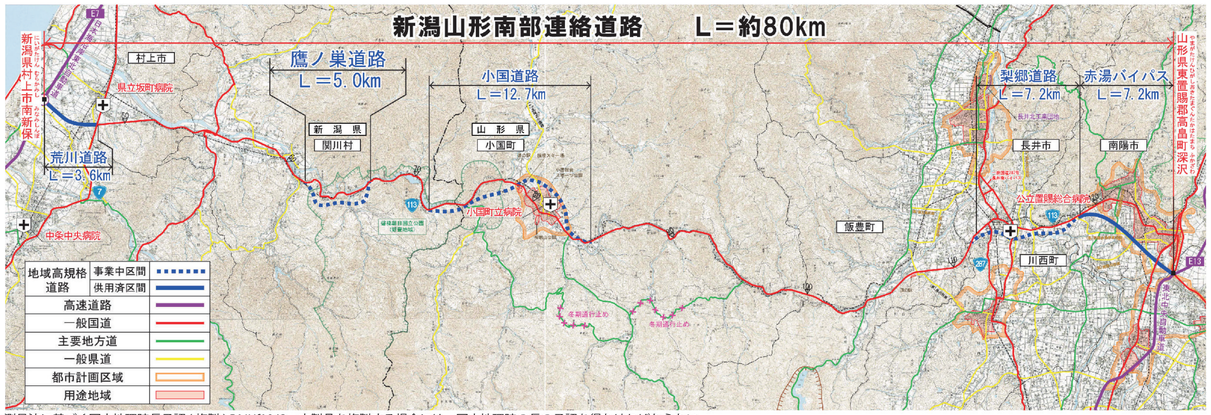
●事 業 経 緯

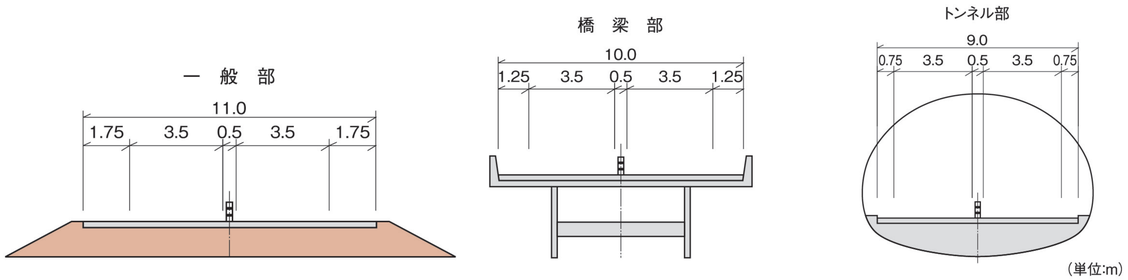
年 度	主な経緯
平成８年度	鷹ノ巣道路区間の整備区間指定
平成９年度	事業化
平成 10～11 年度	環境影響評価
平成 13 年度	用地買収・工事着手
平成 15～19 年度	計画見直し

●新 潟 山 形 南 部 連 絡 道 路

新潟山形南部連絡道路（新潟県村上市～山形県東置賜郡高畠町間）は日本海沿岸東北自動車道及び東北中央自動車道を接続する、延長約 80ｋｍの地域高規格道路です。

平成 31 年度に、新潟･山形県境で新たに小国道路が事業化され、観光や物流など北陸・東北地方の発展と交流を支える道路として整備が進められています。



測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R1JHf1043　本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない

●計 画 断 面 図